



世界に希望を生み出そう

脇町ロータリークラブ

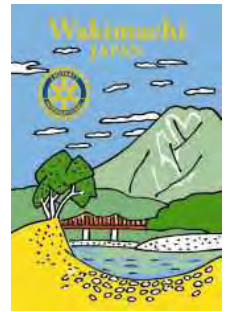
第2670地区

徳島第2分区 脇町ロータリークラブ

2023年8月24日 木曜日

第7回例会 No. 2846

会員総数:40名 出席者27名 出席率:67.50%



●メーキャップ

●会長挨拶

川原会長 本日は話題にするのは「ふるさと納税」についてです。ロータリークラブのモットーである「みんなに公平か」の精神で取り上げたいと思います。まず、ふるさと納税の目的と意義から始めます。「ふるさと納税」の制度は、2008年に導入され、私たちの生まれ育った地域や心に残る場所へ、税金としての寄付を贈ることができる画期的なシステムです。この制度は都会と地方の経済格差の是正に貢献し、都市部の資源を地方自治体の課題解決に有効に使う手助けをしており、全国のバランスの良い発展に寄与しています。

次に現状についてです。先日8月1日に総務省は昨年度のふるさと納税の寄付額を発表しました。寄付を利用した人は890万人、寄付総額は9654億円と、いずれも過去最高を更新しました。寄付額が最も多かった自治体は、宮崎県都市部で196億円、次いで北海道紋別市が194億円、北海道根室市が176億円となっています。都道府県ランキングでは、北海道がトップを占め、続いて、宮崎県、福岡県となっています。その一方、徳島県は富山県とともに最下位となっています。一方、総務省はもうひとつの自治体ランキングを発表しました。住民がふるさと納税を利用してほかの自治体に寄付をした影響で、今年度の住民税の税収が減る見通しとなった自治体の“減収額”ランキングです。1位は横浜市で272億円、2位は名古屋市で159億円、3位は大阪市で148億円となっており、都道府県や地域間による格差が鮮明になっています。

そして、各関係者でのメリット、デメリットについてです。自治体、利用者、国、そしてサイト運営者や返礼品業者など、多岐にわたる立場から見ると、「みんなに公平か」とは言い難い、さまざまな課題が見えてきます。まず寄付を受け入れる自治体は、新しい資金源を得られるメリットがありますが、返礼品の用意や宣伝にかかるコストは無視できません。ふるさと納税を利用する市民にとっては、返礼品や税金控除のメリットがある一方、自分たちの住む地域の税収が減ることで、地域の公共サービスや施策が縮小するリスクも考慮しなければなりません。国にも、地方交付税として住民税の減収部分の75%を補填するという大きな負担がかかります。ふるさと納税のサイト運営者も経済的恩恵がある一方、管理の複雑さや、トラブル発生時の対応、その原資が税金であるという社会的な責任を伴います。返礼品を扱う業者は、新しい販売ルートが確保でき、売上の増加がある一方、競争の激化や、品質維持が課題となります。また、ふるさと納税の仕組みや利点を十分に理解していない人も多く、税金の支払いをしても返礼品やその他のメリットを享受できないケースも見られます。

最後に我々ロータリークラブとしての取り組みについてです。私たちは、このふるさと納税制度の意義を正しく理解し、地域の振興や発展にどのように貢献できるか、日々考え、行動していく必要があります。脇町ロータリークラブの一員として、様々な社会制度を正しく理解した上で、地域社会のさらなる発展を目指して、奉仕活動に取り組んでまいりたいと思います。本日も、お付き合いいただき、ありがとうございました。

●幹事報告

佐藤直樹幹事

到着週報 鴨島 阿波池田 美馬 洲本各RC

到着書類

連絡事項 次回は8月31日(木)となります。

●委員会報告

●プログラム

卓話 インターアクトクラブ 委員長 古川会員 7月29(土)~30日(日)2日間にわたりましてインターアクトクラブ年次大会が、今治市で開催されました。29日(土)は今治明德短期大学で、30日(日)は里山スタジアムで行われました。大会テーマが【Start!動き出そう!~SDGs、実践の可能性~】というテーマで行われました。本日は脇町高校インターアクトクラブ顧問の新見先生と一年生のメンバー3人にお越しいただいております。それぞれの大会に参加した感想をいただきたいと思っております。

新見理紗教諭 脇町高校より参りました ESS インターアクトクラブ同好会、顧問の新見と申します。本日はお招きありがとうございます。私は今脇町高校に赴任して16年目になります。ESS インターアクトとしては、留学を生徒がするときにロータリーさんのプログラムを使わせていただいたとか、留学生が日本に来られた時に学校をご紹介して交流させてもらうというような活動を過去したように思います。これからまた様々な活動をさせていただく中で、ロータリーのことについて勉強させていただけたらと思っています。インターアクトの年次大会について感想なのですが、普段学校では生徒たちは同年齢の集団でいることがメインです。今日の会のように色々な年齢層、色々なご職業の方々と一緒になって大会に参加するなんて経験は本当に今までなかったことで、色々な方からお話を聞いたりと一緒に活動する中で、今までは気づけなかったことだったり、社会の一端を担っている方々のお話を聞かせていただいて、これからの将来の展望についてひらめきを得たりとすごく貴重な経験だったと思います。特に色々な立場から社会を良くしていこうと、第一線で活躍されている方々の思いを直接聞くのは本当になかなかない機会です。これからの進路選択にもとても役に立ったと思います。特に今回プログラムの中でFC今治の運営の方の話聞いて、ビジョンを聞いたり信念を知ったり、実践例ということでサッカーの試合を見せていただきました。次の日にはスタジアムの見学をさせていただいて、どのようにスタジアムを一年間活性化させていこうかというテーマで、SDGsの観点で生徒たちとディスカッションをさせていただきました。その一連のプログラムの流れがすごく良くて、実際に自分たちの立場で考えることができたので、とてもいい学びになったと思います。なかなか他校生や他県の生徒と活動することではありませんでしたので、新鮮であり自分たちにとっていい経験になったと思います。この経験を生かして、様々な社会の問題点を認識し、自分の将来と絡めながら、これから高校生活を充実したものにしていくと思っています。本校のESS インターアクトは英会話の方を活動メインでやっておりました。コロナ禍になる前は、大会の参加や、研修に呼んでいただいたこともあったと思います。またコロナも5類になりまして色々な活動再開されているところですので、また皆様と一緒に活動をさせていただいたり学ばせていただいたりしながら社会を良くしていくことだったり、自分たちの将来について考える良い機会になりました。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

藤本真由子さん 私は今治に行ったことがなく、里山スタジアムという場所も知りませんでした。けれど今治の魅力や里山スタジアムにどういう思いが詰まっているのかが伝わりました。特に里山スタジアムでは相手選手にはストレスを与えるような設計で作っていると言うことを聞いて、このスタジアムにはたくさんの人の夢や希望が詰まっているのだなと思いました。2日目のSDGs実践例の話合いでは他校の人たちの新鮮な、自分に無い意見や発想を聞けてとても良かったです。SDGsと聞いて私は世界のことばかり考えていましたが、身近なことでも繋がっているだということに気がきました。本当にインターアクトクラブの年次大会に参加してよかったと思っています。2日間お世話になりました。

松浦奈央さん 普段、SDGsなどを日常的に考える事が少なく、本当に良い機会になったと思います。実際に里山スタジアムへ行きサッカー観戦をしたことで、里山スタジアムに込められた思いを知ることができてSDGsの知識もとても広がりました。2日目は、はじめて会った人たちとディスカッションをしてSDGsの実践例を考えることは難しいかと思っていたけれど、たくさんの人のいろいろな意見が出てきてとても楽しかったです。実際に模造紙にまとめたりする時には、絵が得意な人は絵を描いたり、まとめるのが得意な人は文章を書いたりして本当に協力的な人たちばかりで私も見習おうという気持ちになりました。今回は本当に良い機会を与えてくださりありがとうございました。

馬場日奈子さん 私は愛媛県今治市のことについて何も知らなかったのですが、サッカー観戦をしたり、里山スタジアムの関係者のお話を聞いて、すごく今治市に興味を持ちました。里山スタジアムはたくさんの人が協力して作ったスタジアムだと思いました。2日目のグループディスカッションでは他校の生徒と話し合い、発表を成功させるためにSDGsと絡めて、たくさんの意見を出し合いました。そのなか自分になかった意見や感想を周りの人が持っていて、すごくいい機会になりました。また美馬市でもこのような取組をして、全員で盛り上げられたらいいなと思います。次回も参加させていただきたいと思えます。ありがとうございました。

【記念写真】



インターアクトクラブ
委員長 古川会員

脇町高校インターアクトクラブの皆様、お話しいただきありがとうございます。人前で話をする機会も、今までは多くなかったと思います。いきなり、知らないおじ様の前に連れてこられて話をしろと言われ、どうしようと思ったはずですが、体験をコンパクトに上手にまとめていただきました。

今まさにお話いただいた内容を少し映像とともにフォローアップさせていただきますが、その前に、インターアクトが何かということをお借りし復習したいと思います。

【四つの輪】というのがあって①家庭、②学校、③社会、④国際奉仕、これをつなぐ活動をするというのがインターアクトです。高校生だけでなく中高一貫の高校もありますが、12歳から18歳までの学生さんの団体であるということになります。当2670地区ではこのインターアクトを含む委員会が青少年奉仕委員会という分類になっております。この青少年奉仕委員会の中には四つの小委員会があります。インターアクトクラブ、ローターアクトクラブ、ローターアクトクラブは18歳から30歳までの年齢の会員がいらっしゃいます。もう一つはRYLA(ライラ)。香川県の与島にて二泊三日で研修をするRYLAですね。それに属さない一般的な新世代の活動を支援する新世代奉仕委員会と言うのが四番目。この四つの委員会のもとに青少年奉仕委員会というのが構成をされております。新世代奉仕委員会は子供食堂などの支援をしております。例えば子供食堂を支援したり、学校の周りの清掃をしたり、短期交換プログラムの7470地区との交流の中で国際交流を行っていただいたり、様々な活動をインターアクトは行っています。

話が戻りまして、年次大会1日目は今治明德短期大学の講義室にて開会式が行われました。FC今治の統括をされている中川寛之さんという方のお話をメインに、すべてのプログラムが進んだという状況であります。サッカー日本代表の監督を務められた岡田武史さんがこのFC今治に関与されているというお話を皆さんよくご存知だと思います。岡田さんは株式会社今治夢スポーツという会社を立ち上げられまして、スタジアムからFC今治を運営なさっているところでもあります。今治明德学園の学園長にも今年度から就任なさっておりますので、様々な形で今治に関与されて活動されているという状況です。株式会社今治夢スポーツの社長は矢野将文さんです。東大工学部を出られてゴールドマンサックスに入社。その後、愛媛大学で林業を専攻。地元で活動をなさっていた時、先ほどの岡田武史さんにご縁があって今治夢スポーツの社長をなさっているということでもあります。講演会の内容で様々ご縁に感謝する、ご自身が社長になるにあたってご縁があってこの会社にヘッドハントされたと言うお話を、森信三さんの言葉になぞらえまして、ご説明をされていました。

2日目のプログラムで訪れたFC今治の里山スタジアムは、ゼロから自分たちの手で作り上げたというスタジアムであります。生徒さんたちも実際にスタジアムに降りて、グループ別に分かれて説明をいただきました。先ほどのお話の中で自分のクラブにどうやって活躍してもらうかを考えて設計した

というお話がありますけれども、驚いたのはFC今治の控え室はリラックスできる椅子なのですが、相手チーム側は、椅子が直角になっていて、リラックスできないように作られているそうです。それぐらい、主催者というのは細かく勝ちにこだわって運営されているのだなということが伝わってきました。2日目はSDGsの実践と可能性ということで、どうやったらこの里山スタジアムとFC今治が良くなるのだろうかということをインターアクトの皆さんと一緒にディスカッションして考えていただきました。先ほど申し上げたように模造紙に、それぞれのグループの発表内容を書いて発表していただいたということでもあります。2日間のプログラムを通じて全然違う高校の方達と一緒に考えることができ、また今まで学校の中では体験しえなかったようなことをそれぞれの方々が体験していただいたのかなと思います。

最後にインターアクト会長幹事会のご案内をいたします。

6月4日に四国中央市の福祉会館で会長幹事会が行われました。6月の会長幹事会でSDGsの下地をつくって、そして年次大会の本番で皆さんに考えていただいたという流れになっております。6月の会長幹事会、そして7月の年次大会というインターアクトは大きな二つの事業をもって運営をされております。短期交換プログラムもそうですけれども、6月というのは前年度のようなイメージがあるのですが、1月から始まります短期交換プログラムとインターアクトの6月の会長幹事会は、今年度の事業に該当します。充分にお伝えできないこともあろうかと思いますが、また改めまして次回のご案内をしたいと思っております。どうもありがとうございました。

●ニコニコボックス

南由紀子会員、小河会員、友成会員

●例会ダイジェスト

今週の見出し！

来年から脇高、制服デザインが変わるってよ！

1. 夏休み課外授業。



2. (株)ストレス設計？



1. 未来の脇町ロータリアンかも。

2. FC今治 里山スタジアム外観。

3. 校長先生のお話。



4. 脇町高校インターアクトクラブの皆さん。



3. インターアクトは4WDであるとかないとか…。 4. 来年もお待ちしております。

次回例会	2023年8月31日(木)12:30～ 清月屋敷
プログラム	卓話 田北会員

- ☆ 次の会員は例会欠席でした。 一井会員、小笠会員、小野会員、上柿会員、木下会員、郷司会員、千葉会員、秦会員、藤村会員、藤原武志会員、南善幸会員、吉野会員、山本会員
メイクアップして下さい。
- ☆ 次回例会の出欠を黒川出席委員長まで連絡してください。